

		児童館事業	学童クラブ事業
壬生児童館	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、事業を継続していきます。 ○遊びを通して、子どもたちの健全育成と社会性の向上を目指します。 ○子育て世帯の居場所をつくり、乳幼児クラブの充実と子育て支援講座（予約制）を継続します。 ○気になる家庭への支援と地域や関係諸機関との連携を深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、事業を継続していきます。 ○基本的な生活習慣を身につけ、遊びや集団生活を通して協調性や自主性を養う環境づくりに努めます。 ○集団活動の中で、一人ひとりの活躍の場を設けながら、自尊感情をはぐくみます。 ○保護者と信頼関係を築き、学校や地域と連携を図りながら、地域で子育てを支える機運を高めます。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○登録制の乳幼児クラブを利用の保護者から、「保護者自身も楽しみ、保護者同士の仲をより深めることができました。」とお声をいただきました。これからも児童館だからこその遊びや雰囲気大切にしながら、親子で気軽に通っていただけ、子育て世代の支えとなれるよう、支援の方法や、取組の内容について工夫しながら進めていきたいと思えます。 ○子育て支援講座では、昨年のニーズ調査の結果を踏まえ、リトミックや英語などを取り入れた内容で実施しました。どの講座もたくさんの利用につながり、保護者の質問から子育て相談につながることもありました。 ○気になる家庭については職員間で情報共有を図りながら安心して利用してもらえようことを心がけて支援しました。そうした中で、「ほっこりらんど」への参加や専門の先生に気軽に会える取組等につながることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○縦割りでの班構成とし、3年生を中心としたグループで活動を取り組む中で3年生の主体的な取組につながりました。 ○秋祭り「わくわく子どもマーケット2022」を開催し、班ごとでお店を企画することで子どもたちの主体的な活動を行う機会としました。また、当日はお店でのやり取りを子ども同士だけではなく保護者、運営協力会、地域の方々にも来ていただき、交流の機会とすることができました。コロナ禍で個別的な活動になりがちだった状況から地域の方々と共に過ごし、触れ合う機会を持つことも少しずつできてきました。